第30回企画展

「最上地域の縄文時代」

９月10日（土）～12月４日（日）

エントランス

ごあいさつ

舟形町西ノ前遺跡から出土した土偶「縄文の女神」が国宝に指定されてから10年を迎えました。

山形県立博物館では国宝指定10周年を記念し、全国の国宝土偶や東北・県内の土偶を中心とした展覧会「女神たちの饗宴」が開催されることになっています。

本館でも、これに協賛し、西ノ前遺跡のある最上地域の縄文時代を概観する企画展を開催することと致しました。

最上地域の縄文時代の遺跡で、これまでに発掘調査が行われた遺跡は25ヶ所ほどを数えます。縄文時代早・前期の調査された遺跡は少なく、不明な点が多いのですが、中期以降、晩期までの集落遺跡からは多くの出土品があり、県内を代表するものも少なくありません。

山形県内の縄文時代の出土品で国宝と重要文化財に指定されているものは4件ありますが、その内3件は最上地域の出土品ということが示しているように、考古学的に重要でかつ優品が多いという特徴があります。

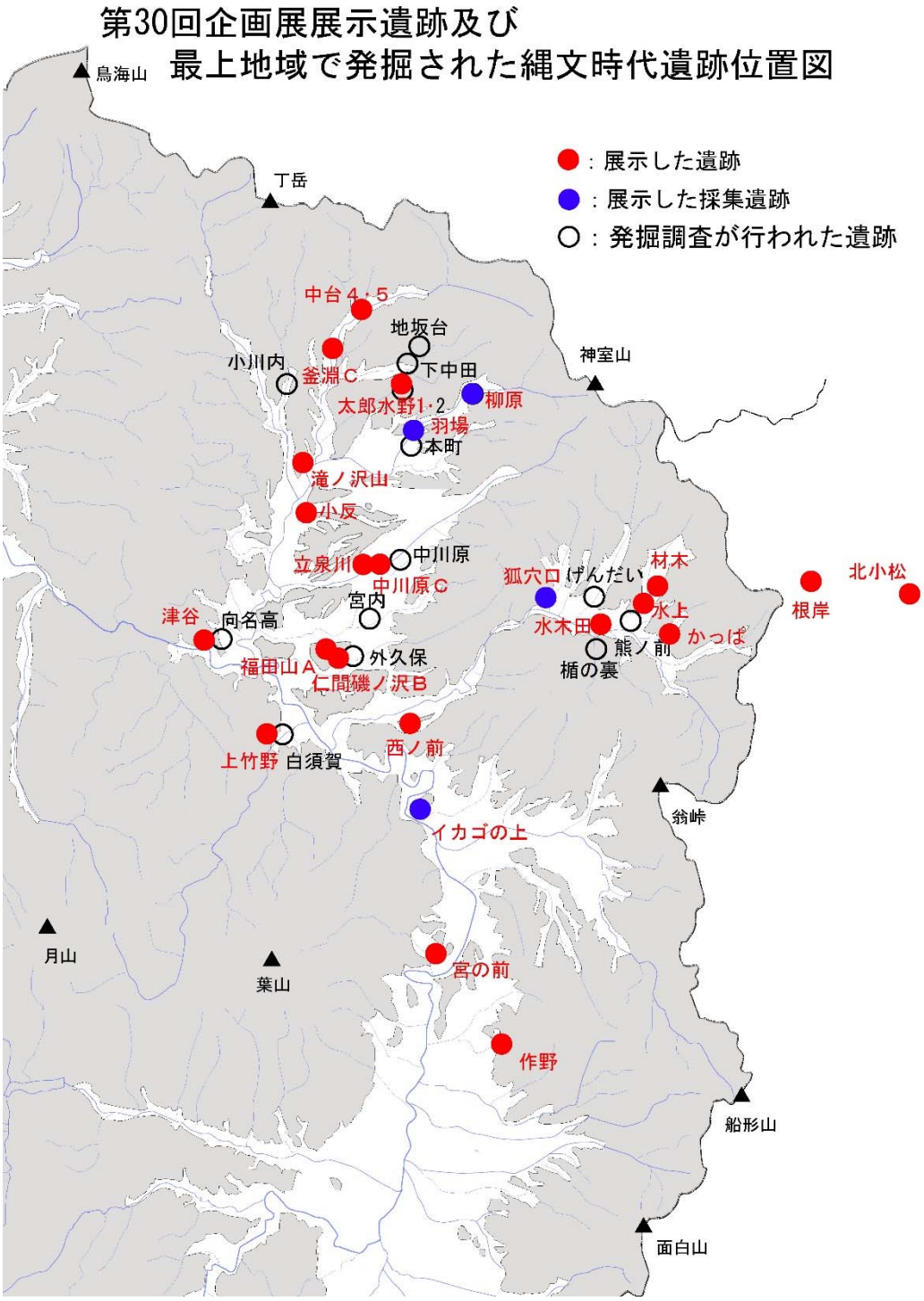
今回は、これらの出土品から土器や石器、石製品594点を展示いたしました。重要文化財の水木田遺跡出土品をはじめとし、最上地域の縄文時代の移り変わりがわかるような展示構成としました。この中には、三澤裕之氏によって発見された翡翠に似た緑色石英の玉製品や製作途上品など、最新の研究成果も展示することが出来ました。

今回の展示には、山形県(公益財団法人山形県埋蔵文化財センター)、東北歴史博物館、最上町教育委員会、大石田町歴史民俗資料館、小沼礼次郎、齊籐志郎、佐藤　忍、三澤裕之の各機関、各氏から貴重な資料をお借りいたしました。また、黒坂雅人・後藤枝里子・小野章太郎・大谷俊継、遠藤真一の各氏から御協力と御配慮を賜りました関係各位に厚く感謝申しあげ、御挨拶といたします。

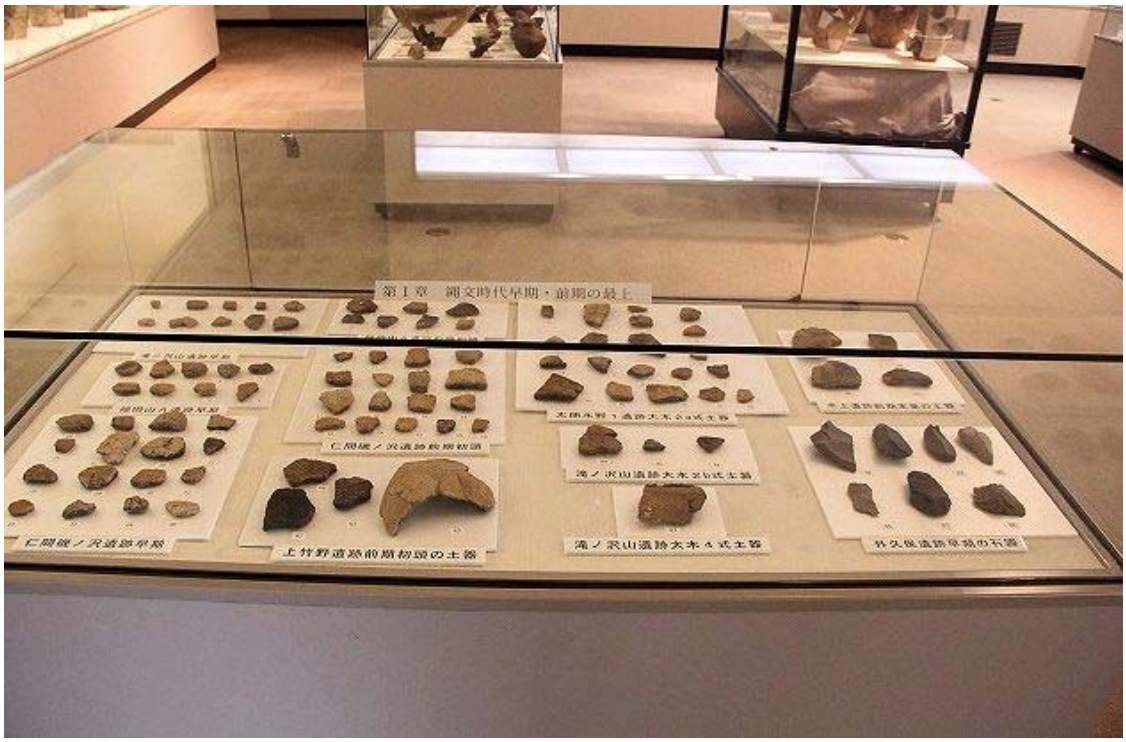
令和4年9月10日

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館　館長　渋谷　孝雄

展示遺跡位置図


第30回企画展展示遺跡及び
最上地域で発掘された縄文時代遺跡位置図
●：展示した遺跡
●：展示した採集遺跡
○：発掘調査が行われた遺跡
鳥海山
丁岳
神室山
翁峠
月山
葉山
船形山
面白山
中台４・５
地坂台
小川内
釜淵Ｃ
下中田
太郎水野1・2
柳原
羽場
本町
滝ノ沢山
小反
立泉川
中川原
中川原Ｃ
宮内
津谷
向名高
福田山Ａ
外久保
仁間磯ノ沢Ｂ
上竹野
白須賀
西ノ前
イカゴの上
宮の前
作野
狐穴口
げんだい
材木
水上
水木田
熊ノ前
かっぱ
楯の裏
根岸
北小松

第1章　縄文時代早期･前期の最上



最上地域にある早期と前期の遺跡である滝ノ沢山遺跡、福田山Ａ遺跡、仁間磯ノ沢遺跡、上竹野遺跡、太郎水野1遺跡、水上遺跡の土器片 91 点と外久保遺跡の石器 7 点を展示しています。

第2章　縄文時代中期の最上

最上地域の中期の遺跡である西ノ前遺跡、水木田遺跡、中川原 C 遺跡の中期前葉の土器、同じく西ノ前遺跡、水木田遺跡、中川原 C 遺跡、かっぱ遺跡遺跡の中期中葉の土器、小反遺跡、釜淵 C 遺跡、中台4遺跡の中期後葉の土器を合わせて 68 点展示しています。

第3章　縄文時代後期の最上

最上地域の後期の遺跡である立泉川遺跡、水上遺跡、釜淵C遺跡の後期初頭の土器、津谷遺跡、水上遺跡、釜淵C遺跡、かっぱ遺跡の後期前葉の土器、かっぱ遺跡の後期中葉の土器、上竹野遺跡の後期後葉の土器を合わせて 37 点展示しています。

第4章　縄文時代晩期の最上

最上地域の晩期の遺跡である釜淵C遺跡の晩期前葉から後葉の土器、上竹野遺跡の晩期後葉の土器を 48 点展示しています。

第5章　石器の変遷

最上地域の中期前葉の水木田遺跡、中期後葉の小反遺跡、後期前葉から中葉のかっぱ遺跡、晩期の釜淵 C 遺跡の石器を合わせて 253 点を展示しています。

第 6 章　緑色石英の流通と埋納された磨製石斧

緑色石英製の玉造遺跡と考えられる材木遺跡の土器と宮城県大崎市の根岸、北小松遺跡、北村山地域の宮の前遺跡、作野遺跡、イカゴの上遺跡から出土・採取された緑色石英製の勾玉・小玉、最上町の狐穴口遺跡から採集された剥片、それから、材木遺跡から出土・採集された緑色石英製の玉や未製品、剥片などと、埋納されたと考えられる柳原遺跡で採集された大型の磨製石斧や羽場遺跡の石斧など 87 点を展示しています。